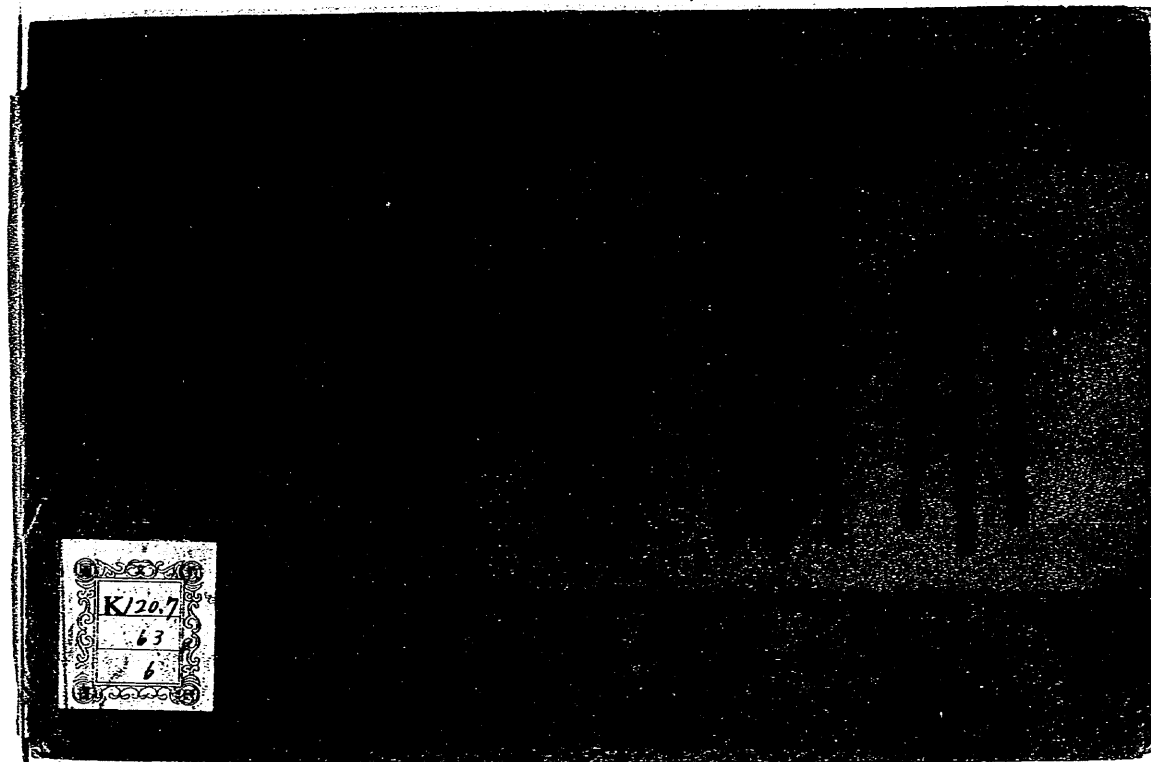


K120.7

63

6



正訂郎吉錦多本

著郎太正山小

撰

新

川圖習書帖

K/20.7

63

6

篇六第種甲

行發社學文京東

タランヨリハ、寧ロ齊シタル能品ナルヲ要ス、本帖ハ深ク
 斯ニ注意シ、筆々謹慎敢テ粗放ナラザルヲ期シタリ。
 八臨畫ノ初歩ニハ、直線曲線ヲ交互ニ習フヲ可トシ、方ニ
 倡スルヲ弊アリトス、故ニ本帖ハ其輪廓ノ尚線ヨリ成ル
 者ト直線ヨリ成ル者トチ、交互ニ序列セリ。
 九臨畫ハ成ルベク大ナルヲ益アリトス、從ヒテ臨本モ成ル
 ベク大ナルヲ良シトス、本帖ハ斯ニ注意シ、全幅ノ位置ヲ
 失ハザル限リハ、勉メテ畫中ノ諸物ヲ放大ニ畫キタリ。
 十臨畫ハ寫生ノ階梯ナレバ、臨本畫中ノ諸物ハ、他日寫生ス
 べき諸物ニ聯猪アルヲ益アリトス、故ニ本帖ハ、成ルベク
 何人モ實物ニ接スルニ難カラザル者ヲ撰擇シ、且ク其畫
 法モ成ルベク他日寫生ニ移ルニ便ナラン事ヲ務メタリ。
 十一臨本ヲ編纂スルノ順序ハ、其畫中ノ品類ニ由レルト、畫
 法ノ難易ニ由レルトノ二種アリ、普通教科書トシテハ畫
 法ノ難易ニ由ルチ至當ナリトス、故ニ本帖ハ畫中ノ品類
 ニ由ラテ門ヲ分クテ、專ラ畫法ノ難易用筆ノ疎密ニ由リ
 十二本帖、別ニ教師用書一卷アリ、之ヲ結カバ臨畫ニ關ス
 ル諸種ノ心得ヨリ各國ニ付キ、之々起テ、前後連筆ノ方
 法等ニ至ルマデ、瞭乎トシテ掌チ指スガ如キモノアリ、是
 レ從來多ク見ザル所底クハ、教ヘ易ク學ビ易カラシムカ。
 十三本帖製本ヲ左綴ト爲シタルハ、其例又少キ所ナリ、是レ
 右綴ナルモノハ、左方ニ置キテ開展スルトキハ畫紙ト相
 違フカラシメ、反廻スルトキハ臨本面ヲシテ左方ニ傾斜
 セシムルノ不便ナリ、然レトモ、左綴ナルモノハ更ニ此憂
 ナク反廻スルトキニ於テ、臨本面ヲ右方ニ傾斜セシメ、生
 徒チシテ一冊注視シ易カラシムルノ益アレバナリ。

明治三十二年九月 著 者 識

第六篇 目次

- 第一圖 菖蒲の花
- 第二圖 提灯
- 第三圖 蓮根と慈姑
- 第四圖 薔薇の花
- 第五圖 火箸と十能
- 第六圖 燕
- 第七圖 榮螺と蛤
- 第八圖 老樹
- 第九圖 草
- 第十圖 枇杷
- 第十一圖 夏の木
- 第十二圖 急須に茶碗
- 第十三圖 栗の實
- 第十四圖 鞆と手袋
- 第十五圖 寫生の例

本帖ハ固ト此主旨ニ因テ編纂セシモノナルベキモ、發刊既ニ五年ノ久シキ、全國府縣ノ過半ニ採用セラレテ、刊行部數夥多ナルガ爲メ、原版漸ク磨滅シ、遺憾ノ点少キニアラザリシヲ以テ、今茲ニ第一（現行ノ教授要目ニ照ラシ）第二（前述ノ主旨ニ則トリ）第三（本帖ヲ採用セラレタル府縣當路者ノ實驗談ヲ斟酌シテ、大ニ訂正チ加ヘタリ）其一二ヲ舉グレバ、順序ヲ變更シタル部分アルハ、實地授業ノ經驗ニ由リ、習學ノ難易ニ準シタルナリ、卷末ニ器物其他ヲ縮寫セラルモノヲ加ヘタルハ、寫生ノ標準ヲ示セルモノニテ、必シモ之ヲ画カシムル爲メナラズ、是等ニ類スル實物ヲ此ノ如ク略画セシモンガ爲メナリ。

明治三十六年十一月

訂正者識

小學習畫帖

編纂主旨及習學心得

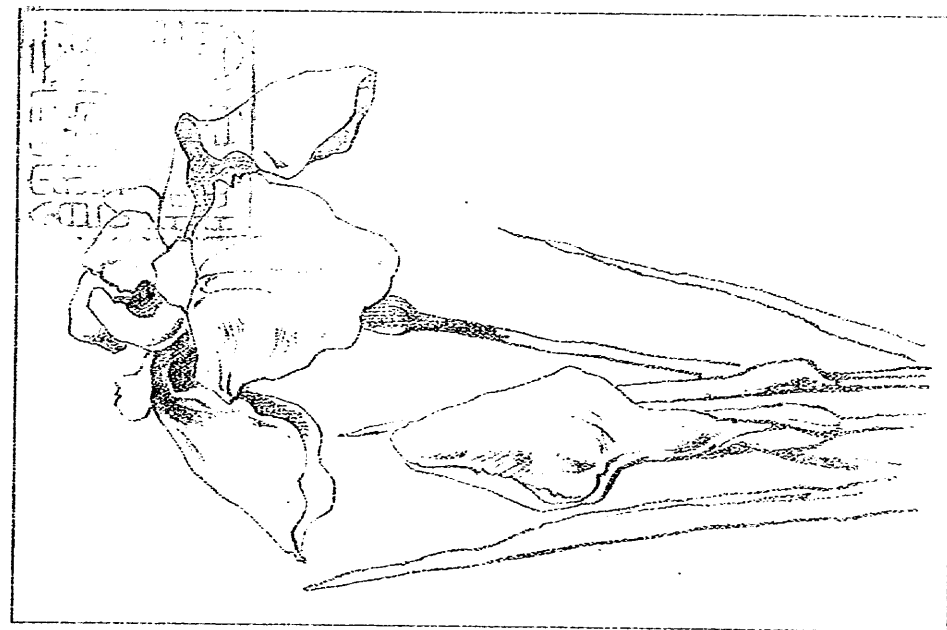
一、本帖ハ、小學校教科用ニ編纂スルモノニテ、甲種十二冊乙種八冊外ニ水彩畫二冊ヲ附シタリ。尋常科ヨリ圖畫ヲ課スル學校ハ、甲種ヲ用ヒ、高等科ノミハ、課スル學校ハ、乙種ヲ用フベシ。但水彩畫課スルニ當リ、其時間足ラザル時ハ、四五六篇中ニテ、二冊若クハ二冊ヲ適宜ニ省クモ妨ナシ。二、從來ノ臨本ハ、其枚數ノ部ニ於テ、興味甚ダ少キ爲ニ生徒ノ厭倦ヲ招クコト多シ。本帖ハ、大ニ斯ニ意ヲ用ヒテ、他書ノ最モ無味ナル部ヲ變テ、最も多趣ナル部ト爲シタリ、乃チ枚數ニ於テ、多ク古人ノ定數ヲ集メテ、レバ、教師コレニ就キテ、小談話ヲ爲セバ、生徒ハ興味津々トシテ、毫モ厭倦スルコトナク、樂ミテ是ヲ習學スルニ至ル可シ。三、本帖ハ、風雅ヲ行ハズ、洒落ヲ粧ハズ、平易ニシテ興味アルヲ旨トシ、教ヘ易ク、學ビ易キヲ目的トセリ。四、本帖ハ、紙數ニ限アルヲ以テ、材料ノ多種ヲ望ミ難ク、レドモ、勉メテ、右搜左索シテ、以テ異類各種ノ物ヲ集メタリ、是レ亦著者苦心ノ一ナリ。五、本帖ハ、山水人物鳥獸花卉具ノ類ハ、勿論、ダトヒ簡單ナル模様ノ類ニ至ルトモ、成ルベクハ、日常兒童ノ目ニ觸レ易キ、高尚優美ナル我國古來ノモノヲ畫キ、以テ生徒ノ思想ヲ高メ、ンコトヲ務メタリ、是レ亦著者ノ微意ノ存スル所ナリ。六、繪畫ノ筆少クシテ意多キ者ハ、兒童ヲ娛マシム可ク、意少クシテ筆多キ者ハ、兒童ヲ倦マシム可シ。本帖ハ、最も斯ニ注意シ、初篇ニ於テハ、特ニ筆少クシテ意多キ者ヲ畫キテ、以テ彼ノ弊ヲ去リ、此便ニ就カンコトヲ務メタリ。七、繪畫ノ運筆落筆縱橫ナルハ、一見シテハ興味多ク、レドモ、就キテ學ブニ難シ。初學ヲシテ強テ之ヲ學バシメバ、其弊少カラザルベシ。故ニ普通圖畫科ノ臨本ハ、放逸ナル妙品

訂正要旨

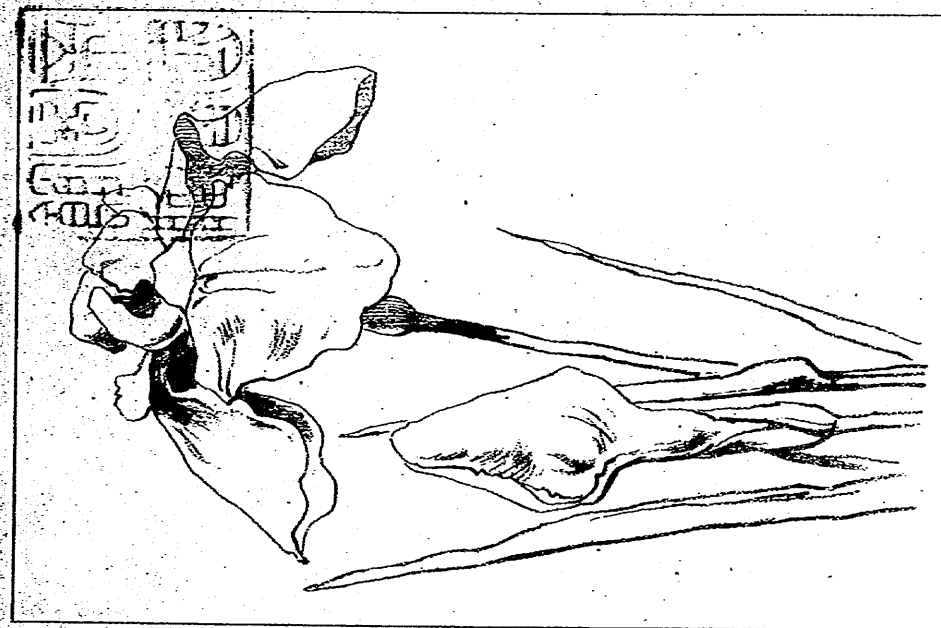
近來歐米諸國ニ行ハル、一般ノ圖画ハ、茫漠タル空想ヲ描クモノ著シク減シ去リ、正確ナル寫實ヲ基トスルモノニ非ザレバ、殆ト通用セザルニ至レルガ、教育上ニ用フル圖画ニ至リテハ殊ニ然リト爲ス。

各學科ノ授業ニ圖画ヲ應用スルコト漸次増加シ來ルト、モニ其修身、歴史、地理、理科、博物等何レノ學科ニ用フルモノニ於テモ、事々物々皆眞ヲ寫シ實ヲ傳フルヲ以テ目的トシ、一點ダモ妄想アルヲ許サズ。

サレバ小學校ニ於テ教フル圖画モ、専ラ生徒ヲシテ眼前ノ諸物ヲ誤リ無ク寫シ得ル技能ヲ得シムルヲ目的ト爲セリ、故ニ其結果トシテ臨画ヲ減シテ寫生画ヲ増シ、且ツ臨画ハ全ク寫生画ノ階梯トシテ授クルニ過ギズ、從ツテ臨本ハ寫生セシムル標本實物ト密接ノ關係ヲ生ジ、臨本画中ノ諸物ハ成ルベク寫生ノ標本ト近似スルヲ要ス。

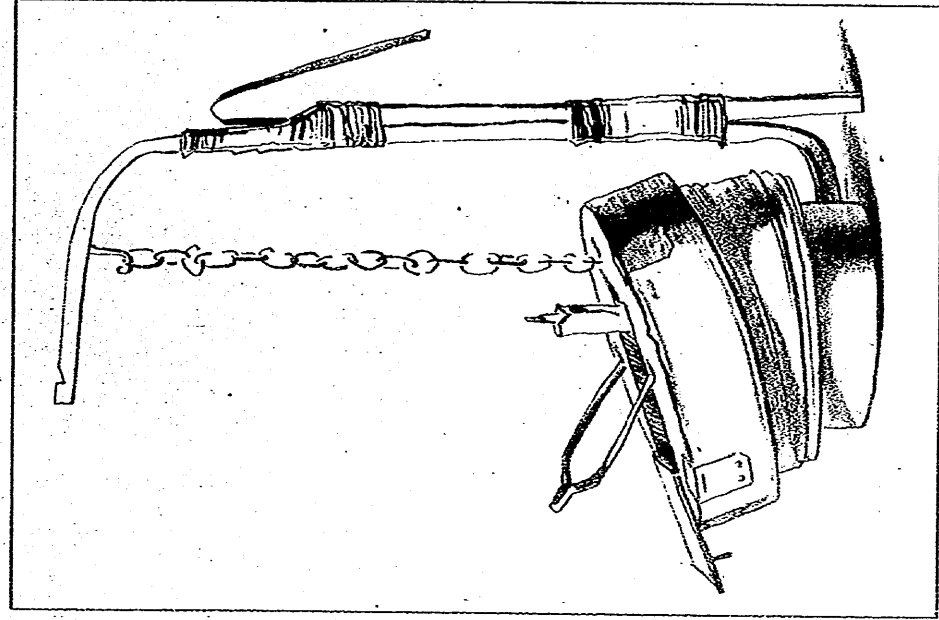


露光量調整、重複撮影

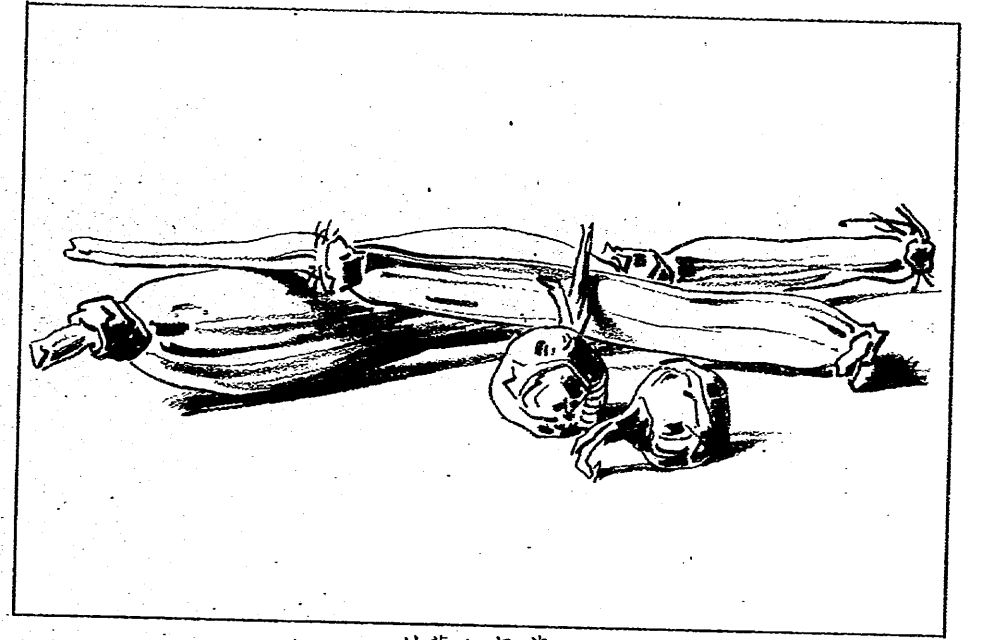


花の蕾

花の蕾は、花の成長の初期段階で、花の中心部に形成される。蕾の大きさは、花の成長の速さや環境条件によって異なる。蕾の表面は、通常、緑色または茶色の外皮で覆われており、花の中心部は暗い色で覆われている。蕾の成長は、花の中心部から始まり、徐々に外側へと広がっていく。蕾の成長の過程では、花の中心部は徐々に開き、花の中心部は徐々に大きくなる。蕾の成長の過程では、花の中心部は徐々に開き、花の中心部は徐々に大きくなる。



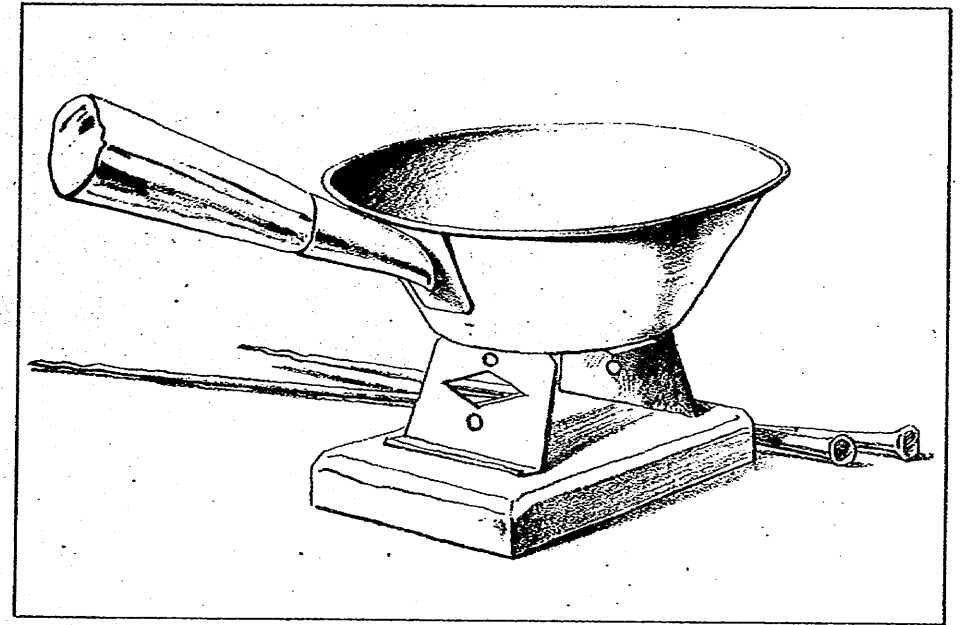
灯提



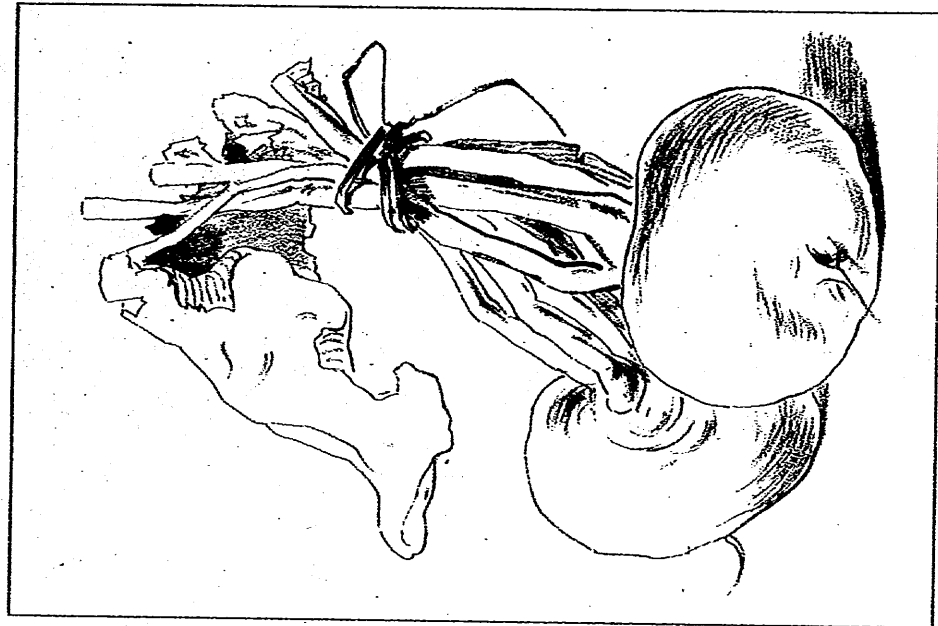
姑慈と根蓮

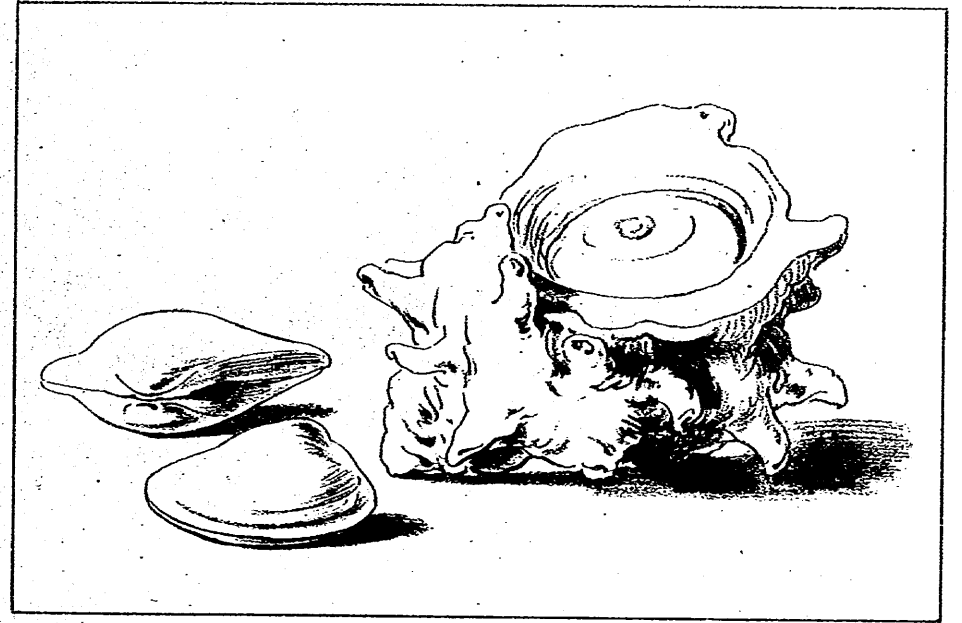


花の綴薔



能十と箸火

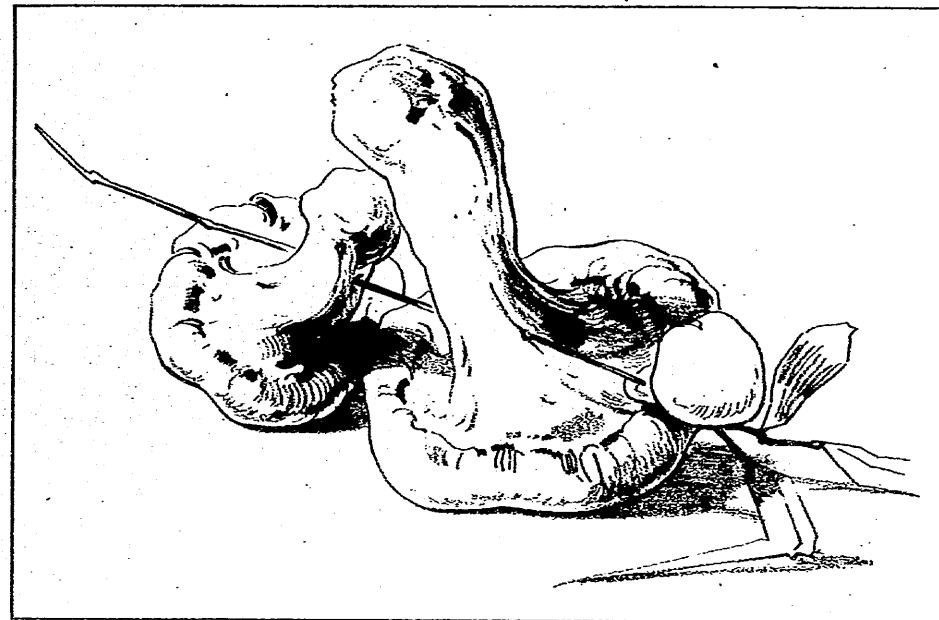




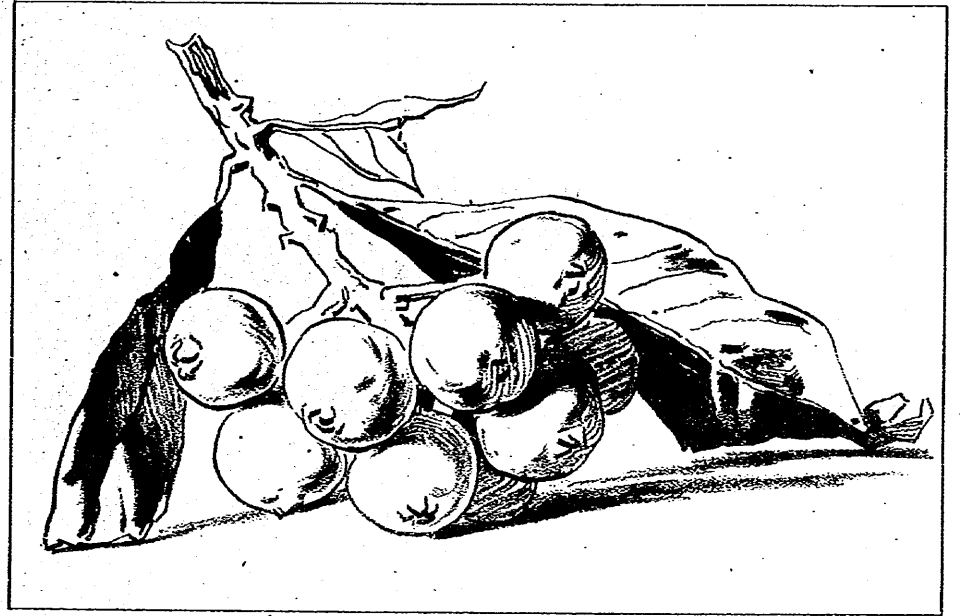
蛤 2 螺 壳

老 樹

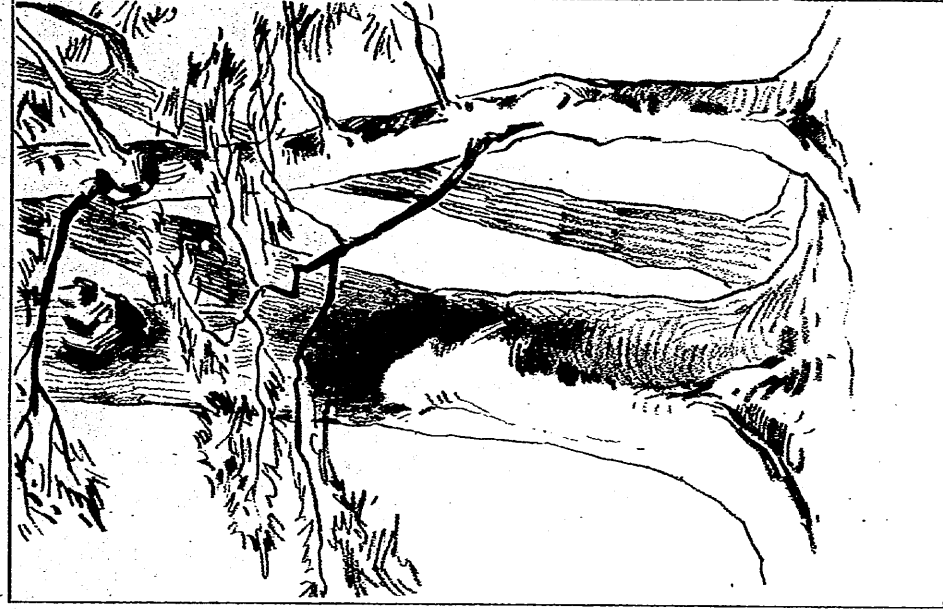




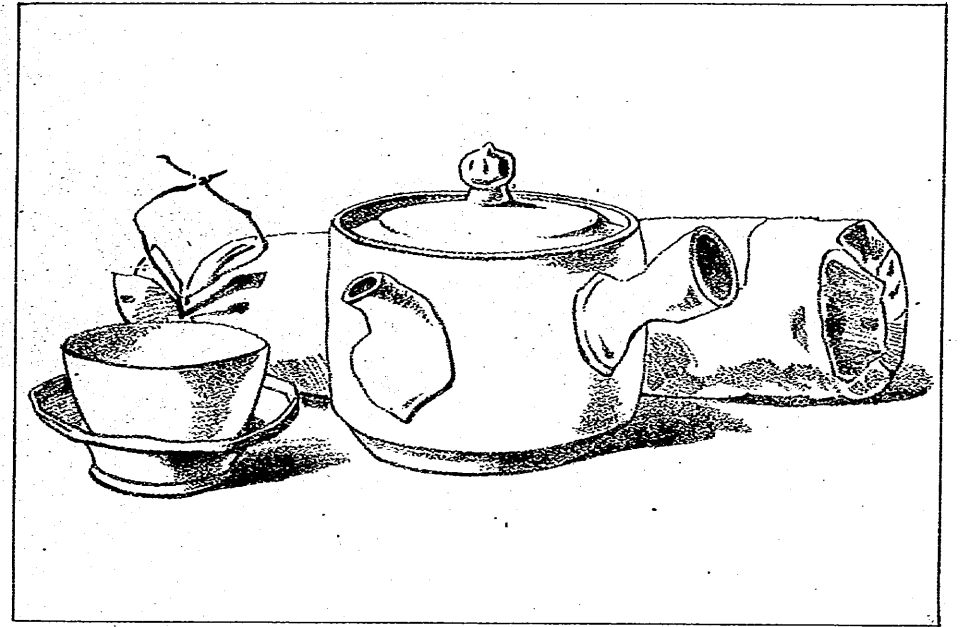
革



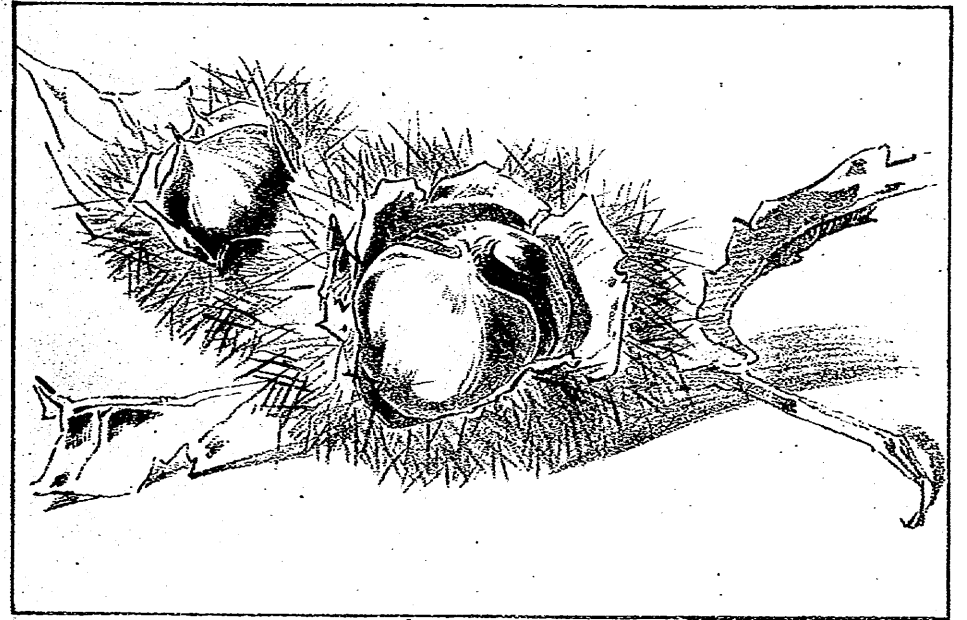
杞 桃



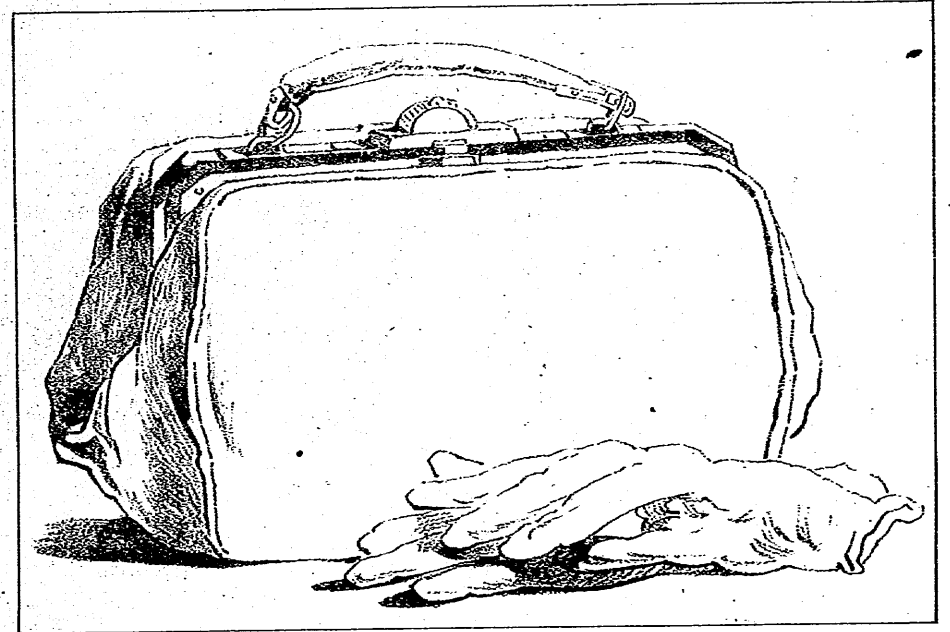
木の根



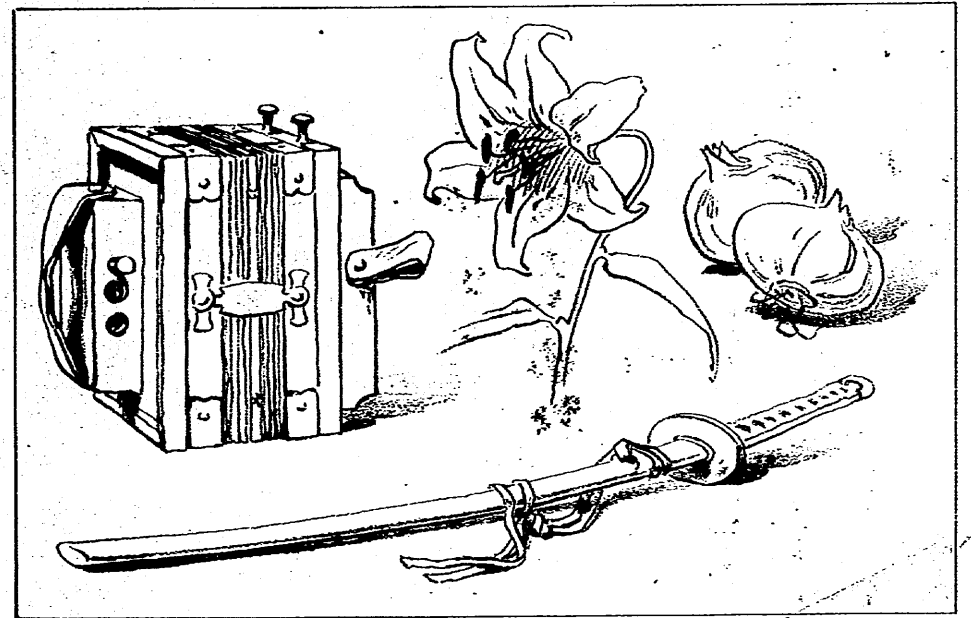
碗茶に須急



實の袋



手袋と乾



例の主寫

新小學習畫帖甲種定價
 卷一、二 各金六錢
 卷三、四 各金六錢五厘
 卷五、六、七、八 各金七錢五厘

明治三十六年十一月二十七日印刷
 明治三十六年十一月三十日發行

發行之章

著者 小山正太郎

訂正者 本多錦吉郎

發行者 小 林 義 則
東京市日本橋區本町四丁目十六番地

印刷者 小 柴 英 侍
東京市神田區東松下町十六番地

發 兌 文 學 社
東京市日本橋區本町四丁目十六番地

大賣捌所 各府縣書林

5 10 5 5.

土 〇
 糸 〇
 工 〇
 田 〇
 木 〇

$$\begin{array}{r} 1180 \\ 45 \\ \hline 1225 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 54 \\ 178 \\ 9 \\ \hline 1602 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 861 \\ 10 \\ \hline 8610 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 178 \\ 9 \\ \hline 1602 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 45 \\ 150 \\ \hline 6750 \end{array}$$

